

## 会員の広場



### 全国大学公開講座研究会主催

### 平成24年度公開セミナー・20周年記念式典に参加して

特定非営利活動法人 全日本大学開放推進機構 事務局長 橋本 仁子

#### はじめに

現在、日本の大学における生涯学習機能の向上に取り組む全国組織としては、国立大学を対象にした全国国立大学生涯学習系センター研究協議会、私立大学の事務職員を対象にした全国大学公開講座研究会と全国(国・公・私立大学短期大学)の教職員を対象にした特定非営利活動法人全日本大学開放推進機構(本機構)の3つの研究会があります。この度、全国大学公開講座研究会の集会に参加する機会がありましたので、ご報告しておきます。

#### 1. 全国大学公開講座研究会の概要

今回、平成24年6月29日(金)、國學院大學常磐松ホールで行われたのは私立大学の事務職員を対象にした全国大学公開講座研究会に参加しました。当日の参加者はおよそ80名ぐらいで、会員校と非会員校は約半々ぐらいでした。この研究会は、平成4年(1992年)1月14日(火)第1回設立準備委員会が国立教育会館において行われました。当初板橋区の大学が中心となり首都圏の大学に参加を求め、平成4年7月7日(火)、中央学院大学において「大学公開講座連絡会」(加盟校は23大学)が発足し、顧問は東京家政大学理事長清水司先生、相談役に当時昭和女子大学オープンカレッジ学院長代理阿部賢典先生が就任されました。

その後、平成5年5月7日(月)、首都圏の大学へ「連絡会加入のお願い」を郵送し、活動が始まりました。幹事の皆様の努力が実り、平成5年7月1日(木)国立教育会館において「第1回オープンスタディー」『公開講座の現実を見据えて』が開催されました。平成7年3月27日(月)、「大学公開講座研究会」に改称し、世話人は幹事会になりました。そして、つい最近、平成22年6月17日、「全国大学公開講座研究会」に改称されました。

平成17年『大学公開講座研究会13年誌』(加盟校82大学)を発行されました。当初、『10年誌』を発行する予定でしたが、諸般の事情から13年誌になりました。筆者も『13年誌』の発行にかかわりました関係上、今回の『20周年記念誌』を懐かしく拝見させていただきました。発足以来の経過を知るものとして、これらの記念誌を見ると、時代が変わり人事異動により幹事が替わるたびに当初の流れが少しずつ変化していくことも感じさせられます。

研究会の発足当初、加盟校は23大学でしたが、筆者が担当していた時期(6年前)は83大学もあり、その後若干少なくなり、現在は72大学になっています。大学の事情もありますが、世の中の状況も大きく変化していることもあるように思います。

大学側では、部署の改変が行われ、部署の名称もエクステンションセンター、生涯学習センターから、地域連携センター、地域協力推進センターといった地域をより意識した名称になってきています。これも時代の流れであろうかと感じます。

## 2. プログラムの内容

今回の公開セミナーでは、最初に文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課課長補佐高井絢様による「生涯学習の最新動向」の講演がありました。

講演の中で、注目されることの一つの項目は、

1. 教育振興基本計画、2. 大学改革実行プラン、3. 公開講座・地域連携、
4. 全国縦断熟議、5. 高等教育機関等における人材認証制度です。

中でも強調されたのは、

1. 教育振興基本計画の第2期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方(概要)―  
4つの基本的方向性に基づく方策
  - ① 社会を生き抜く力の養成、
  - ② 未来への飛躍を実現する人材の養成、
  - ③ 学びのセーフティーネットの構築、
  - ④ 絆づくりと活力あるコミュニティーの形成

でした。成果目標8(互助・共助の活力あるコミュニティーの形成)が大事になってくることです。

3. 公開講座・地域連携については、配布資料の詳細を説明されました。

大学(国・公・私立)公開講座実施状況、開かれた大学づくりに関する実施方針(地域社会に対する大学の貢献として重視する事柄)、開かれた大学づくりに関する実施方針、地域との連携についてここでは相変わらず大学の認知度/イメージアップが強調、学生への教育効果が創出される、地域の活性化が大学の活性化につながるということも強調されていました。

4. 地域と共生する大学づくりのための全国縦断熟議については、希望する大学も多いようで、昨年度の事例にも触れられ成果が上がっているようです。

5. 高等教育機関等における人材認証制度は、今回のセミナーの中で最も注目していたことで、ここでいう「人材認証制度」とは、一定の学習や活動を経た人材の能力、経験等を客観的に認証する仕組みのことです。人材認証制度の評価・活用状況は様々ですが、その特質は学校内外での教育支援が多いことです。今後重視すべき課題は、人材と活動の場を結びつける仕組みの整備、認証された人材が活用できる場の拡大です。以前本機構でも、UEJ 拡張講師として認証をし、各大学への講師派遣を行いました。なかなか活用の場は広がらなかったものです。需要と供給のバランスがうまくいかないというのが現実であると考えさせられました。

多様な主体と連携した教育支援人材の育成と成果活用に向けた取組として、(社)教育支援人材認証協会「教育支援人材認証制度」が実施している事例について紹介がありました。また、「NPO 法人学芸大学こども未来研究所」が取組の発展等を支援しているという事例についても聞きました。この協会に加盟する大学は平成24年4月1日現在14大学とのことです。今後期待される分野であると感じました。

休憩をはさんで、「大学公開講座の『社会的責任』～生涯学習の『高度化』を目指して」と題して、東京家政大学教授山本和人先生の講演がありました。大学公開講座の現状を踏まえ、本格的な生涯学習社会への転換と、大学公開講座がそのきっかけとなるため、学習成果を評価できるようにしてはどうか、また、日本人の人材としての質の高さと、それを証明するためにも、大学公開講座へ評価を導入することは、今後の日本社会に不可欠であることを提案されました。

山本先生の講演の後、引き続き総会が行われました。会員校は現在72校ですが、出席者は40名程度でした。総会終了後、六本木ヒルズや東京タワーが見える眺めの良い國學院大学若木タワー有栖川宮記念ホールにおいて、20周年記念式典が行われました。山本和人東京家政大学教授の乾杯で始まり、公開講座研究会時代の代表幹事岡本さん(淑徳大学)も祝辞を述べられました。懇親会ではみなさん和気あいあいと懇談をされ、職場での日ごろの悩みやこれからの課題など様々なことを話されていました。最近はどんな講座が人気なのか、他大学への講師の紹介、講師依頼など交流の場となっていることも大事なことのように思います。本機構の会員方を多くの大学に紹介し喜ばれているのも、このような交流会で名刺交換をする機会から生まれます。また、こうした懇親会で親交を深めて、大学へ訪問し、その大学の事情を伺い今後の本機構の発展のために役立てたいと常日頃考えています。

今回の、全国大学公開講座研究会の20周年記念式典、公開セミナーに参加し、文部科学省、山本和人先生の講演などで、たくさんの資料やレジュメ等を頂きました。これらの資料は、各大学の職場ですぐに役立つ資料であると思います。また、本機構にとっても次回のフォーラムやセミナーに役立つ資料であり講演であったと思います。

また、今年度は20周年記念の年でもあることから、全国3か所でシンポジウムを開催し多くの大学に研究会の存在を知っていただきたいということだそうです。10/27(土)東北学院大学、11/10(土)國學院大學、11/17(土)神戸学院大学、すでに会場校も日程も決まり準備は進んで幹事さんたちの御苦労が見えました。今後も大学開放を推進していく団体とは、関係を深めていきたいと思っています。

## おわりに

本機構は、平成15年(10年前)に発足し、全国の国立・公立・私立大学すべての教職員を対象にした研究会で、全国の国立大学生涯学習系センター研究協議会を中心にした研究会や私立大学を中心にした全国大学公開講座研究会と並ぶ会です。他団体と異なる点は、国立・公立・私立の教員も職員も、企業や団体、一般市民や受講生でも設立の趣旨に賛同していただけるならどなたでも参加できる研究会であることにあります。また、今年度よりNPO法人に内閣府より認証されましたのでより幅広い活動ができるものと思います。今後とも、全国の大学関係の皆様をはじめ、多くの方々にNPO法人全日本大学開放推進機構の活動に参加していただきたく、会員の方々が周囲へ働きかけて頂きたいと思っています。

また、フォーラムやセミナーではより深い研究や研修ができるように組み立て、2か月ごとに発行される『UEJジャーナル』では、会員の研究成果や意見発表をして、社会に働きかけています。ぜひ会員の方々の積極的なご参加とご支援をお待ちしています。

最後に、現在文部科学省のホームページには、下記のような項目があります。すでに、リンクされているのでご覧下さい。

文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課「大学における生涯学習機能の向上に取り組む全国組織」、  
([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/ikusei/daigaku/](http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/daigaku/))

- ・ 全国国立大学生涯学習系センター研究協議会 (<http://lifelong.main.jp/cms/>)
- ・ 全国大学公開講座研究会 (<http://www.daikoken.jp/>)
- ・ 特定非営利活動法人全日本大学開放推進機構 (<http://www.uejp.jp/>)



創立 20 周年記念式典記念式典参加者 撮影いわき明星大学秋山司様

前列左から、國學院大學 エクステンション事業課課長 山口 耕司 様、  
(全国大学公開講座研究会代表幹事)

前列右から、前公開講座研究会 代表幹事 淑徳大学エクステンションセンター 岡本 勝人 様  
桜美林大学 エクステンションセンター 課長 大川原 裕司 様  
(全国大学公開講座研究会事務局長)  
東京家政大学 教授 山本 和人 先生

幹事校 : 東京家政大学 生涯学習センター 川口 恵美子様  
梅花女子大学 生涯学習センター 北村 博 様  
金沢星稜大学 エクステンションセンター 友部 充洋 様  
いわき明星大学 地域交流室 秋山 司 様  
敬愛大学 大学運営室 倉本 好三 様

---

### 橋本 仁子 (はしもと・じんこ)

1947年 長野県生まれ。大東文化大学文学部日本文学科卒業。桜美林大学大学院  
国際学研究科大学アドミニストレーション専攻、国際学修士。修士論文「大学公開講座の効果的な望ましい運営に  
ついての研究」。学校法人大東文化学園就職(教務部、学務課、図書館、広報課、国際部、体育センター、地域連  
携(旧エクステンション)センター、学園総合情報センター他)。大学公開講座研究会幹事(2004年～2008年)。板橋  
区生涯学習推進懇談会委員(2005年～2007年)など歴任。著書『大学公開講座の効果的運営方法』、2006年。愚公  
黨主宰(陶芸)。特定非営利活動法人全日本大学開放推進機構事務局長。